

クリック一つでローカルウェブサーバーを起動しよう

開発環境をワンクリックで立ち上げたいと思ったことはありませんか？今日はそんな便利な方法をご紹介します。

GeneLab

今回の目標



—— アイコンのダブルクリックだけ

面倒なコマンド入力なしでローカルサーバーを起動します。



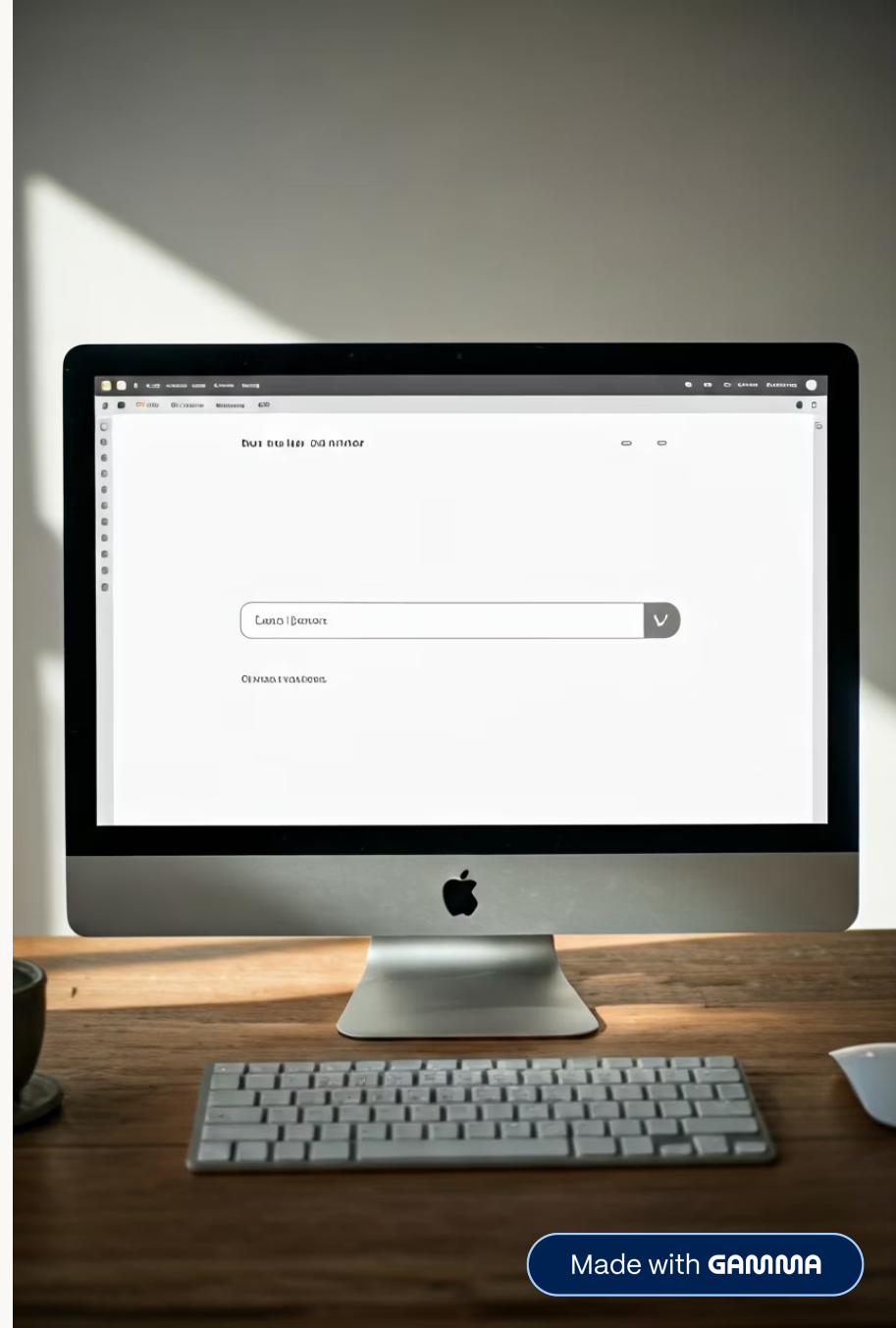
—— ライブサーバーの自動起動

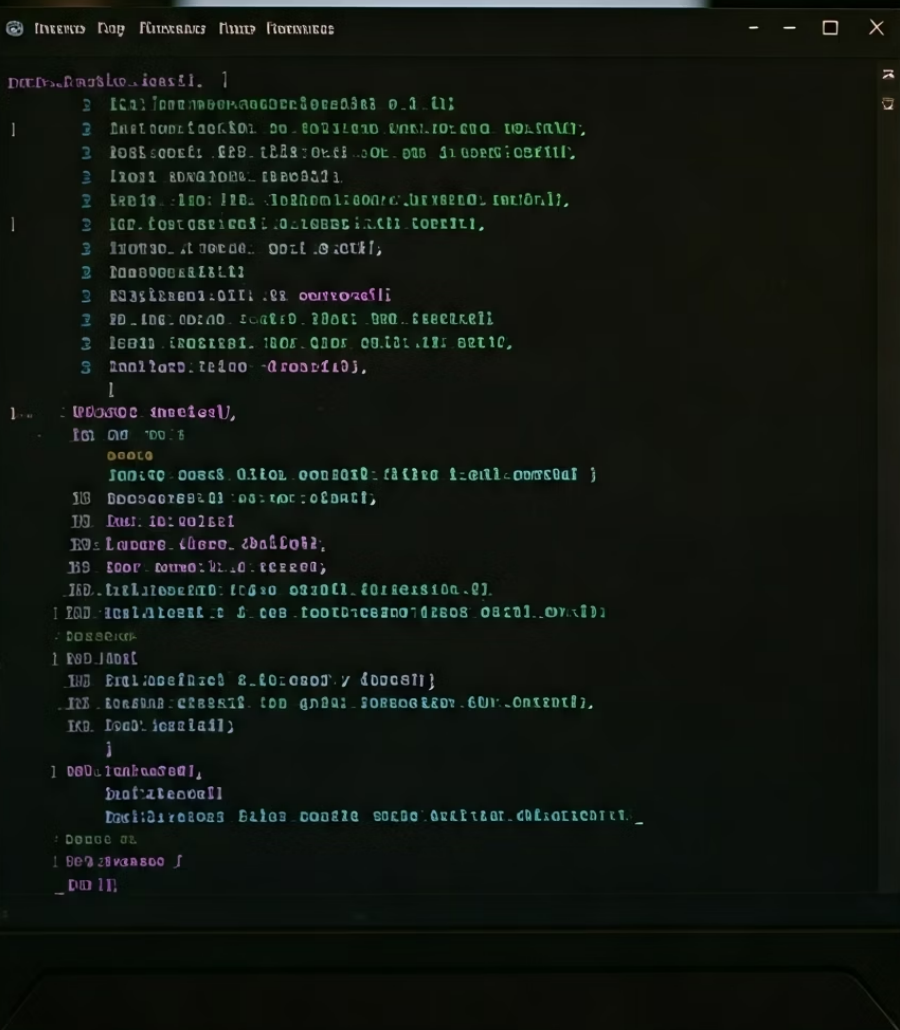
コードの変更をリアルタイムで確認できます。



—— ブラウザの自動オープン

サイトが自動的にブラウザで表示されます。





事前準備



Node.jsの確認

ターミナルで **node -v** と入力します。

バージョン番号が表示されればOKです。

Homebrewのインストール

未インストールの場合は公式スクリプトを実行します。

Node.jsのインストール

brew install node でインストールできます。

Homebrewのセットアップ

インストールスクリプトの実行

ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
/bin/bash -c "$(curl -fsSL  
https://raw.githubusercontent.com/Homebrew/install/HEAD/install  
all.sh)"
```

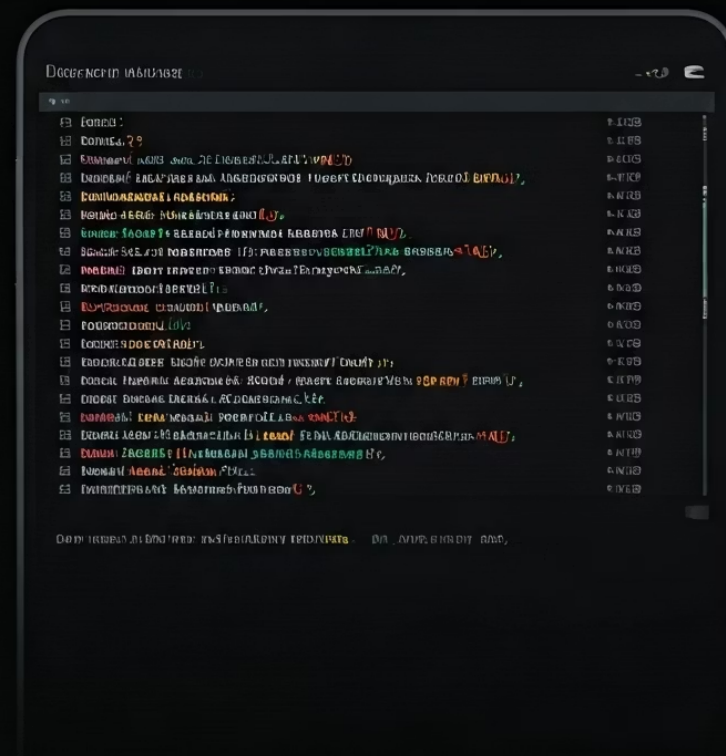
パスの設定

以下のコマンドで環境変数を設定します。

```
echo 'eval "$(/opt/homebrew/bin/brew shellenv)"' >>  
~/.zprofile  
eval "$(/opt/homebrew/bin/brew shellenv)"
```

動作確認

brew --version でインストールを確認します。



Live Serverのインストール

グローバルインストール
ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
npm install -g live-server
```

インストール確認

バージョンを確認してみましょう。

```
live-server --version
```

動作テスト

任意のフォルダで **live-server** と入力して動作確認します。

起動スクリプトの作成

ファイル作成

任意の名前.command ファイルを作成します。

動作確認

ファイルをダブルクリックして動作確認します。



スクリプト記述

以下のコードをファイルに記述します。

権限設定

chmod コマンドで実行権限を付与します。

スクリプトの内容



サーバー起動

指定ディレクトリでライブサーバーを起動します



待機処理

サーバー起動の完了を待ちます



ブラウザ起動

自動的にブラウザでサイトを表示します

```
#!/bin/bash  
live-server "ターゲットディレクトリのパス" --port=5503 &  
sleep 3  
open "http://127.0.0.1:5503/index.html"
```



完成！使い方



権限の付与

以下のコマンドでファイルに実行権限を付与します。

```
chmod +x /ファイルのあるパス/任意の名前.command
```



アイコンをダブルクリック

デスクトップなど好きな場所に置いたアイコンをダブルクリックします。



自動的にサイトが開く

ブラウザが起動し、ローカルサイトが表示されます。



コードの編集

ファイルを編集すると自動的にブラウザが更新されます。